

令和元年度 第7回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和2年2月18日(火) 開会 午後1時30分
閉会 午後3時30分

2 場 所 海上支所3階 第3会議室

3 出席者

会	長	加瀬	正彦(副市長)
副	会	長	伊藤 啓子
委	員	富山	理
委	員	伊藤	英希
委	員	石毛	宏典
委	員	渡邊	錦一
委	員	小倉	和也
委	員	伊藤	義隆(財政課長)
委	員	井上	保巳(行政改革推進課長)

《事務局》

庶務課長	栗田 茂
庶務課副課長	飯島 和則
庶務課施設班班長	八馬 裕樹
庶務課施設班副主査	林 義樹
庶務課施設班副主査	小林 尚嘉
庶務課施設班主事	勝又 智紀
学校教育課指導班班長	岩井 玲

4 開 会

・事務局

本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、第7回旭市学校再編計画策定委員会を開会いたします。また本日、〇〇委員、〇〇委員は欠席ということで報告を受けております。会議の前に会長であります加瀬副市長からご挨拶申し上げます。

5 副市長あいさつ

それでは会議の前にひと言申し上げます。いま世間ではコロナウイルスが非常に大きな騒ぎになっておりまして、東京マラソンも一般参加が見送られるような状況となっております。市のほうも対策調整会議ということで実はもう2回ほど開催しておりまして、正しく恐れる、正確な情報を伝えましょう、そういうことで対応しているところであります。問い合わせも多くいただいているという状況もございます。それはさておきまして、今回第7回の学校再編計画策定委員会ということで、このうち3回は視察でございました。特に1月29日に成田市と佐倉市を視察いたしましたので、この報告を含めて、その時に改めてまた学校再編パターンへの意見についても各委員さんからいただいているということもありますので、それを踏まえまして忌憚のないご意見をいただきながら、会を進めてまいりたい、そのように思います。この方法が良いのではないかと、できるだけやはりそのままというのは、なかなか難しい状況でありますので、是非アイデアを出していただきまして、うまい方向に進めたらなと思っておりますのでよろしく願いいたします。本日の会議もどうぞよろしく願いいたしまして、挨拶といたします。ご苦労様です。

6 議事

・事務局

昨年12月19日の第5回会議において、今後の会議運営に際して、「非公開」ということで、出席委員の皆様にお諮りいただき、ご承認されました。これについては、お手元の資料「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」をご覧ください。要綱の第3条第3項の規定にあります「会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が阻害されると認めるときで、審議会などが会議を公開しないことを決定した場合は、「非公開」となることを定めております。よって、今回の会議を含め、今後の会議については、「非公開」として会議運営をお願いしたいと思っております。前回の会議において、欠席された委員さんもおられましたので、ここで改めてご報告いたします。また、会議の議事録については、引き続きホームページに掲載させていただきますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。それでは、これ以降の議事については、委員会要綱に沿って、副市長に進行をお願いしたいと思います。

・議長

次第の2(1)ですが、1月29日に成田市の下総みどり学園と佐倉市の弥富小学校を視察して頂きました。都合により、参加できなかった委員さんもおられますので、ここで改めて視察の概要を事務局より説明します。

・事務局 議題(1)

資料1「成田市、佐倉市の視察について」により説明。

・議長

事務局から成田市と佐倉市の視察についての説明が終わりました。今の説明につきまして、不明な点等あれば、ご質問を受けたいと思います。さらには確認したいところですね、改めてということで。いかがでしょうか。

・委員

山田小に比べてスクールバスの数がすごい少ないと思うんですよ。これはスクールバスの利用者が少ないんでしょうか。それともまとまった地区で統合するからスクールバスの利用者が少ないのでしょうか。

・議長

これは事務局から回答してもらったほうが良いのかな。

・事務局

利用している児童の割合については、ほとんど山田小と一緒になんですけど、PTA（準備会）の話合いの中で決まったところもありまして、この台数で運用できているとのことですよ。

・議長

大型車があって、ちょうど旧下総町の中心にあって、3つでうまく回りきれんような感じなんですよ。6ルートということで。バスの運行の形態を見ていただければわかると思うんですけど、学校要覧のパンフレットで、一番後ろに色分けでバスの運行ルートが付いてて、うまくこの台数で回りきれんということで、この台数となっている。しかも一番近くの500mの範囲の中のバス停まで来てもらう、そういう状況なんですよ。その中で聞いた苦労している点は、朝2便出しているところで、早い時間帯に先生が来ていなければいけないということで、先生にはご苦労かけているという話があったかと思います。あと、先ほどの事務局の説明には無かったんですけども、成田市の教育長さんがこの視察には参加しておりまして、その教育長さんは実は、この統合について、担当した担当課長さんだったのかな、ということだったと思います。それでずっとこれを手掛けて、夜遅くまで会議をやったのも、その課長さんだと、それと担当者が校長先生になってきていたと、そういう状況でした。その他ご質問はありますでしょうか。

・〇〇委員

複式学級のことをお伺いしたいんですけども、将来の児童数の推移で、1年生が8名以下になるところがあるんですけども、1年生と2年生が令和6年を見ますと、1年生が7名で2年生が5名でそこで複式になって、3年生と4年生を足しても複式の人数のような気もするんですけども、これは、どういった感じで複式であると断定して数が決まっているのでしょうか。

・事務局

この表につきましては、弥富小学校からいただいた資料をそのまま使っているところがございまして、複式学級になる組み合わせまでは、どのように考えているかは確認できていないんですけど、

弥富小学校からいただいたものを複写している。

・議長

私は出ていないけども、たぶん特認制度で1名教員を増員してもらうので、なるべきところは、本来であれば複式学級になるところをしないで、1人で持たせるところができるからということなんじゃないかな。それでよろしいのかな。その他確認しておきたいことがあればお願いします。

・委員

建築の費用面とバスの費用面はお伺いしていらっしゃいますでしょうか。

・事務局

正確な数字を確認していませんので、事務局のほうから成田市に確認したいと思います。バスのほうは、担当に確認したら数千万円というお話をお伺いしています。ただ、下総みどり学園なのか、成田市全体なのか確認がされていませんので、事務局のほうで確認をさせていただければと思います。

・議長

後で確認できたら報告してください。ただ、その時にお話を聞いていた時には、下総みどり学園については、用地を求めたのは中学校の運動場だけで、こちらについては元からあった敷地をそのまま活用したので、びっくりするほどの金額はかかっていない、普通の学校を建設する程度ということで聞いていました。ただ、いま造っている大栄のほうの義務教育学校については、まっさらな所から始めたので、だいぶ金額がかかっているという話は聞きました。確か50億を超えていたと思います。それでは、全体を通してまたご意見をいただければよろしいかと思しますので、次の(2)

「第5回会議の再編パターンについて」の説明をお願いします。

・事務局 議題(2)

資料2「再編パターン資料」により説明。

・議長

第5回の会議の時に再編パターンについて説明した内容、これを視察を踏まえて、その時に欠席された委員さんもいらっしゃいましたので、今回改めてご説明申し上げたという状況でございます。これらについて、ご意見等伺えればとおもいます。いかがでしょうか。前回の会議の時には、いきなりこれを見てその場で決めるということも非常に難しかったと思います。それに伴いまして、今回は、学校再編パターンに伴う意見のとりまとめということで、各委員さんがどのような意見をお持ちなのかということで、改めてまとめていただきましたので、それらを含めて説明したうえで資料3のところを説明をお願いします。

・事務局 議題(2)

資料3「中学校を小学校に転用した場合」により説明。

・議長

前回の会議の時に、中学校を小学校に転用した時にそのまま使えないのではないかと、そういうご

意見がありましたので、改めて事務局に他の事例を調べていただいて、今回資料として提出していただきました。今の説明それとその前の説明も含めて改めてご意見があればお願いしたいと思います。特になければ次の(3)「学校再編パターンについての意見のとりまとめ」これが資料4としてまとまっていますので、これも説明したうえで、全体としてご意見を伺いたいと思います。事務局をお願いします。

・事務局 議題(3)

資料4「学校再編パターンについての意見集約資料」により説明。

・議長

ただいま委員の皆様からいただきました、学校再編パターンに伴う意見これについて、取りまとめたものを発表していただきました。全体的には、ひとつにまとめるには、まだまだ多様な意見がありますので、ここでぱっとひとつにはできません。ただ、やはり多くの委員さんがまとめる必要性というのは理解していただいているのかなと。ただ、中学校と小学校でやっぱり考え方が違ってもいいんじゃないかと、そういうことも感じるご意見もありました。いま発表したのは各委員さんの意見なので、そういうことに対して、例えば自分はこう思っているけども、もう少しそういうものもあるのかな、というところがあれば、また改めてご意見をいただきたいと思いますけども、いかがでしょうか。なかなかこれは、はっきり言って難しいと思いますけども、やはりまとめていくにあたっては、小学校よりも中学校を先に考えていけばいいのかな、というそんな感じはいたしました。中学校ですと、やっぱり〇校、〇校というのも理想的にはあるんでしょうけども。忌憚のない意見をいただければなと思いますけども。

・委員

中学校の案ですけども、個人的には〇校案がいいかなということで出したところで、ここでの〇校案というのは私なんですけども、この〇校案は生徒の規模を見て考えたものでありまして、いま表に出ているスライドの絵を見ても〇校ですと、6km半円の中でほとんどが納まるということもあるので、〇校という案も良いのかなというふうに私は思ったところでございます。

・議長

中学校の生徒であると、ほぼ自転車で通えたりする、そういったこともあって、6kmというのもひとつの通学距離の中では絶対無理ではない、通える範囲なんだろうなという、私なんかも思ったりいたします。この中で、パッと見て思いつくのは〇校にしたときに〇〇中学校と〇〇中、〇〇中の中に学校がひとつありますけども、北側だけはどうしても、まとめられないという、新たに造るようなそういうイメージになりますので、この辺の考え方について、何かご意見があれば伺いたいと思いますけども。これを更に補足すれば、委員さんの意見の中にもありましたけども、新しく造るならば何か特徴を持ったと、そのような意見が出ておりました。実際には、いま話しているのが、数からの話になってしまっていて、その中で教育をどうするかというのは、見えてない

わけなんですけども。なかなか意見が出ないんですけども、これは、指して聞いてしまいましょうか。〇〇委員いかがですか。

・委員

たくさんの要素があって難しいんですけども、やはり既存の施設がたくさん素晴らしいものがあるので、それを活かしつつ特色がある教育ができるように考えると、〇校で例えば〇〇中学校は綺麗であるし、〇〇中もそのまま使えるだろうし、ただ先ほど副市長さんがおっしゃるとおり、上のほうだけ該当する中学校が無いので、例えばそこにひとつ義務教育学校なり施設を隣に小中造って、一貫校とかそういうひとつ何か特徴が出る学校を設置する意味で北部の〇〇地域とその下の〇〇とかその辺の真ん中にひとつ中学校を造って小中連携なり義務教育学校っていうような考えもあるのかなと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員さんはいかがですか。

・委員

現時点では、どれが良いとは言えないんですが、市の考え方としては、まずそれぞれのパターンについて、規模とか施設について合わせて考えてみたとき、これちょっと無理だろうと思うものを除外していったんですけど、そう考えると、このパターンでいくと、〇校のパターンに絞って検討しました。〇校のパターンは〇つありましたので、それを考えていたんですけど、ほかの考え方についても今日初めて皆さんのお考えを知りました。たったこれだけのメンバーですけど、これだけの考え方があるので、実はこれは、もう一度それぞれ皆さんの考え方をじっくり見たいなという段階で、どれがどうこうってちょっと言えない感じです。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員さんはいかがですか。

・委員

意見書にも書いたと思うんですが、旭市って1市3町が合併して、新旭市が設立されましたが、その地区をまた分断するような学校の編成だと、結構父兄のほうからクレームが来るんじゃないかなというのが予想されるんですよ。できましたら、旧旭市以外の〇校は小中一貫か義務教育学校にしていだけたら、一番人数的にいても、地区的にいても軋轢を生まないんじゃないかなという考えがあります。

・議長

ありがとうございます。確かに軋轢を生まないということで、旧3町小中一貫にという考え方、これでいくと義務教育学校というような考え方でよろしいでしょうか。それもひとつの提案であるかと思います。〇〇委員さんはいかがですか。

・委員

一個人として色々とお書きいただいたのも、抜けたところがあるので、少し読ませていただきたいんですけども、保護者としては小規模校、大いに万歳なんですね。実際20名以下のクラスで、36名とか37名入っているクラスの運営状況と20名くらいのクラスを見ると、20人くらいのほうが落ち着いた感じで、静かに授業が進んでいくなと思っているので、そんなに再編は急がなくてもと思っているんですが、実際あの複式学級である10人以下のクラス、これは絶対避けなければいけないと思います。教育の状況からも「深い学び」とかっていう感じで指導要領の変更が来ていますけども、ある程度の人数がいなければ、様々な意見が出ないということで、やっぱり10人以上のクラスが望ましいと思うんですけども、どこらへんが、合併の最低のスケジュールなのかというのをある程度出して、義務教育学校、一貫学校を造るのであれば、実際、この席に地区の代表の方がいて、この地区でまとめたんですけど、という意見も恐らく聞かなければいけないと思いますし、私たちのこの会だけでは決められる話ではないのかなと思っています。

・議長

ありがとうございます。確かに40人のクラスと20人のクラスでは、えらい違いがあって、子供に目をかけられる、手をかけられる、それはあるかと思います。ただ、それも厳しい状況になっていくので、先ほどスケジュールの話がありましたけども、現実には10年とかそこらで実施するというを実現しようとするということではなくて、少なくとも20年くらいの時に、ひとつこの感じになりませんか、というのを出していかないと、地域に話をすることもできないということがあって、前の「あり方検討委員会」だとやっぱり、ホヤっとした感じになっていたんで、そこをもう少し再編計画を策定しましょうという、この名前にした経緯がございますので、そのところは少し具体的なところを示して、それで良いか悪いかというのを地域に聞いていくっていう必要があるのかなとそう思うように思います。いまも貴重な意見だと思います。ありがとうございます。〇〇委員どうですか。

・委員

皆さんから様々な意見があるとおり、皆さんの意見をとりあえず一通り見てみないと出せないところなんですけども、私子供がいるなかで、いろんな話を聞いているなかでは、まず中学校ではやっぱり部活がある程度ないと、自分の子供も結局中学校に行きましたけど、やりたい部活がなくて仕方がなく違う部活に入っているという状況なので、色んな話を聞きますけども、やりたい部活のために旭じゃない市の中学校に行ったりとか、そういった話も当時聞きましたので、そういったところでは中学校の場合は、やっぱり部活動がある程度選択できる規模になったほうが一番いいんじゃないかなと思っています。ただ、新設とか〇〇委員からもあったとおり、分割するところでは、多分、色んな意見、厳しい意見があるのかなという考えもありますので、いずれにしても、皆さんから出された意見をもう少し読ませていただいて、参考にしながらもっと、こちらにも書き

ましたけど、少し時間をかけて委員会としての良いものが出せればいいんじゃないかなと思います。

・議長

ありがとうございます。確かに中学校においては、部活は結構重要なのかなという感じもしております。そういったところからいくと、やっぱり小学校よりもまず中学校を何とかしなければいけないのかな、その部分の書き込みがあって、それに合わせた形で小学校っていうのもひとつの手法ではあるんだろうと、そのように思います。〇〇委員さんいかがですか。

・委員

私もパターン〇の〇校のほうで書いたんですけども、中学校は人数がないとやっぱり部活の問題があると思うんで、そういうのでやっぱり、〇〇中とか〇〇中が新しくなっているんですけども、どっちに持っていった方がいいのか、それとも新設にしたほうがいいのか、小学校を併設したほうがいいのかと、その辺もあると思うんで、自分にはちょっと難しくてわからなくなりますね。

・議長

ありがとうございます。〇〇中にしてもかれこれ15年近くになりますので、〇〇中も5年目ですかね。これで再編を進めるのが、例えば15年先になった時には設備関係の改修がもう一度必要になってくるという、多分〇〇のほうに先に必要になってくるだろうと。そういう時にはまた形を合わせて何かやらなければいけないということです。どうせお金をかけるならば、その時にというのが、行政の中ではひとつ考え方としてはあります。いま〇〇、〇〇中学校の話も出ましたけども、それも含めてどういう形で持っていくのがいいのかっていうのは、ご意見を出していただいて、書き込んでいければなということでもあります。行政の立場として、〇〇委員どうですか。

・委員

学校再編を考える場合に、2つのことを必要じゃないかというふうに思っております。それは、地域性と生徒数のバランス、こういったところをひとつ念頭に置かなくてはならないのかなと思います。ただ、あまり地域性ばかりを考えてしまうと、再編の意味が無くなるというか、縮小できないということもございますので、そういったことを考えた場合、〇の〇校ですか、ひとつ大きいところが469人とございますけども、そのほかの②、③は317人ということで、バランスが良いのではというふうに思っております。義務教育校ですけれども、これは敢えて造るということではなくて、結果的に再編して小学校がこの地域、中学校がこの地域ということになれば、それはそれで進めるとういうことにしたほうがよろしいのではないかと、いうふうに思っております。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員、意見言ったけどもう一回さらにどうでしょう。

・委員

先ほど〇〇委員さんの意見を参考に、確かに20人程度の生徒を1学級というも適正かなと思うんですけど、現実問題、例えば〇〇小とか、10名以下の学年が結構多いということもあります

ので、全体計画の中でまず、統合を急ぐべきところもあるのかなというふうに考えておりますので、先ほど加瀬副市長から15年後20年後の統合ということをおっしゃっていましたが、これは一度にはできないのかなと思っております。最終的な20年後の姿を見ながら、5年後10年後とか必要に応じて順次統合していくような形を考えていきたいなと思っております。

・議長

ありがとうございます。皆さんご意見を出していただいて、それで今回はそれをパターンごとに、こういう意見でこういう形というのがあったわけです。ただ、全員の委員さんの意見を見てみると、やっぱり様々な考え方があってということがあり、さらに自分自身でもう一回噛み砕いてみて、ほんとにこれでいいのだろうかというのは、検証してみる必要はあるのかな、そのように思います。ですので、今日はそこまでまとめてみましたけれども、この先、どういう形で進めるかとなった時に、やはり市としては、まとめていきたいという思いがあります。正直、子供の数がいないので、このままでは結局維持できないというのが第一にあって、そのこのところでどうしたらいいのかというのは、今回いただいた意見の中で、例えば中学校は○校にとというのは、皆さんそれほど異論はなさそうな感じがしたので、そのこのところから、例えば今施設がどのくらい老朽化していて、このくらいの時には大きなお金を掛けなければいけないので、その辺の時期にはこういうの、というのは事務局のほうでできるのかな、事務局のほうで考えて。先に中学校のほうをこうした時に小学校の在り方が、もしかしたら見えてくるかもしれないので、そのへん次回の資料として作れば。あと、これまで意見をいただいた中で、こういう意見はあり方検討委員会の時にもそれぞれ対立する意見も並列して書いて、その中で最終的にはこの方向でとまとめていたと思うので、そういう形で文書として起こせるものがあれば、中学校のところから先に進めていく、これは施設の老朽化の面もあるし、生徒の数の面もあるし、それから中学校としてある程度の規模が必要だということ踏まえて記述ができれば、そのこの部分の案ではないけれども文書として起こしていかないと、その先進めないような気がするので、そこをお願いしたいなと思ったんですけども。

・委員

いま中学校のお話だったんですけども、小学校で考慮していただきたいなと思っているのが、干潟地区と嚶鳴地区に住宅地が多くなっておりまして、やっぱり市の戦略もあると思うんです。そちらの分譲等を力を入れてやっていきますよ、ということであれば、もしかしたらその辺は民家が増える可能性があるのではないかな。その市のあり方ではないですけど、やっぱり住んでいる近くに学校があるというのは、まちづくりとしてはメリットがあるので、そのへんはどうなっているのかなというのが1点と、あと○○中と○○中が一緒になるのは、必然的な感じもしないでもないですが、私個人としては、○○中なら○○小と○○小が入れるな、なんて思っているんですけども、そうすると、早く○○中に出て行ってほしいと思いますので、そうすると再編をすこし急いでいただくような、第一段階をそこで急いでいただいて、○○小と○○小は耐久年数を見ると校舎のほうも

だいぶ古いので、そのへんの数字をはめ込んでいただいて、対応年数で表を作るものありかな。あと、〇〇小学校は確かに人数がすごい少ないんですけども、これは〇〇の話もあるので、学校をいろんなどころにはめ込んだりしちゃうのもちょっと大変なのかなと。そのへんはどうしたらいいのかなと思っています。運動会にしろ何にしろ学校行事にそういう子たちを大きな小学校に入れ込んでしまっているのかどうか、人間形成に関して大丈夫なのか。あと〇〇小らへんに中学校、義務教育学校だったり一貫学校だったりというのを視野に入れてお話されているのが結構あるんですけども、そうなった時にはもう通学圏内ではないので、そのへんを加味してあげないといけないのかなと感じます。〇〇中、〇〇中どちらを使うかということですけど、〇〇中を中学校で使っていたらばなと思ったのは、〇〇中にもしかしたら〇〇も〇〇も〇〇も歩ける範囲で行けるんじゃないかと。ちょっとそんへんをちょっと思って、ちょうど〇〇小の端っこと〇〇小の端っこと3つぐらいで歩ける範囲に、少し〇〇小ははみ出て、〇〇の八日市場寄りのほうは外れるんですけど、だいぶタイトになる。そうすると校舎の移転なんかもいいのかなと、そんな感じです。

・議長

今のお話の肝は、〇〇中のところにひとつ小学校が入って、4 kmの円を描くとみんな入っちゃうんじゃないかという、そういう事だと思いますけど、最後の部分は。それもひとつの考え方であるんだと思います。ただやっぱりどうしても一番最初にどこか進めるところがないと、多分そのところの説明にしても何にしてもできないだろうかと、そういう感じがします。下総みどり学園もそうでしたけど、やっぱり説明するときには案があってはじめて、というところもあるような気がしますので、保育所なんかも順番にある程度まとめていきましょうみたいなところも現実にあるんですよ。そうした時に保育所は早期に進めるもの、中期に進めるもの、長期に進めるものみたいな段階的な考え方を示してあるんですけども、具体的には書けていないんですね。でもその考え方というのは、最初にやるところ、その後やるところ、その先にやるところ、そういう考え方も含めて文章的に起こしていきるとちょっと違うかもしれないですね。イメージが沸くかもしれない。ただ、子供たちの数が結構少なくなっているんで、ほんとに状況としては厳しい状況、災害等の避難場所の話がありましたけども、少なくとも行政組織としてはそれぞれの地域にみんな個別に残っていくものだと思いますので、少なくとも5千人規模の避難者がきちんといられるような、そういう計画は防災計画のなかで立てておりますので、そういうのを踏まえて学校というのはあってもいいのかなというところはあります。

・委員

先ほど私は、このパターンがいいんじゃないかと申し上げたんですけど、その時自分で大事にしていたのは、大変申し訳ないんですけど、各学校とかね地域の実情を考慮していると絶対進まないですよ。みんな残したいもの。やっぱり地元が良いようにと〇〇委員もそう思ったとおもうんですけども、皆さんそう思われているので、いま副市長が最初にやることには意味があるとおっしゃい

ましたけど、最初にやることはまず、それを除外しておいて、地域の皆さんに提案するための基を作るということですよね。そのためには、ちょっと申し訳ないけど学校の実情、それから地域の人々の思いというのはちょっと置いておいて、検討の時にまたそれは出していただかなければならないかもしれないけど、そういう事も大事なんじゃないかなと思いました。やはり進まないでしょうがないので、まず皆さんから色々出しているんですけど、それをもう一度再検討し、より良い規模のものをいくつ残せるか、それには先ほど委員もおっしゃったみたいに、財政面の事も考えていかなければいけないでしょうし、もちろん子供たちの人数規模も考えなきゃいけないんで、そういうところに戻ってやらないとあり方検討委員会に係わってましたけど、やっぱり本当にあれは土台が出来たか出来ないかというところまでですよ。今度再編で一步上がれるか上がれないかのところだから、それは責任を持ってパターンを詰めていかないといけないし、今の思いを汲みすぎると多分また一からやり直しになるから、そこが難しいなと思いました。

・議長

今、〇〇委員に代弁していただいたようなところも現実にはあります。今回、委員さんの意見をいただいたので、正直申し上げれば、一番多くこうまとめたほうが良いんじゃないかという意見があれば、そのところは第1案、その次が第〇案、第〇案とか対案を作っていくって、それがどういう意見でそういうふうになっているかをまとめて議論していく、というのが必要なのかな。その先が初めてこの会としては、こういう反対の意見もありましたけれども、報告としてはこういう形でもっていきました。という風に持っていく必要があるんだと思いますので、そのところを次にまとめてほしいな、というところがあって先に中学校の話をしてしまいましたけども、今回、それぞれの委員さんの意見をいただいているので、それを基に今までのこのパターンというよりは、意見を踏まえたうえで絵をもう一度書いていただくというか、皆さんが多かった意見、その次の意見という、その中でどういう理由っていうのを含めて議論させていただければなと思いますので、お願いします。中学校はほぼ〇校でまず第1案という形で、〇校にした場合どうなるという、それにする時の意見を踏まえてこういう形で、こういう議論が進められたというふうに持っていきたいなと思うんですけども。

・委員

先ほど学校の建設費用云々の話があったと思うんですけど、みどり学園にしても、大栄の学校にしても、空港の予算が結構おりのんじゃないのかなという気がして、だからその予算があるから皆さんにはそんなに負担が掛からないよっていうので、統合が進んだんじゃないかなっていう予想がされるんで、もしそういうのがわかりましたら、次回教えていただけたら嬉しいかなと思います。

・議長

それも是非、できるだけ費用面を含めて改修にこのぐらい、みどり学園であれば、中学校の大規模改修の時期がって、それもやっている。小学校のほうは新設した。そういう事でありましたから、

そのへんの資料もできれば、あと大栄のほうもまとめているということだったので、大栄の費用です。あと一般的な学校を造る時の費用ということで、前回確か〇〇中学校の費用を出しましたが、山田小も出しましたが、校舎自体はそれほど㎡単価というのは大きな開きというのは無かったですね。それ以外の付帯施設、いわゆる設備関係、そういったものによって随分金額が変わってしまっていたというところがあるので、そのへん出来るだけ分かりやすく整理して出させていただきますかね。

・事務局

はい、費用の内訳のほうを用意します。

・議長

今回、中学校のほうを先に議論してしまいましたけども、もう少しお金の面とかも含めて議論したい、そういう意向もございますので、小学校の議論まで今日は踏み込まないで、できれば一旦次回に送りたいと思いますけども、よろしいですか。異論がなければ。

・委員

この半年くらい月1回ペースで行われているんですけども、来年のスケジュール感を教えてください。

・事務局

今回の会議を3月27日の金曜日に予定をお伺いしたいのですが、それと来年度以降という話ですが、今言った再編の案がある程度煮詰まれば、会議の日程も少し空いてくるのかなとは思いますが、今のところ〇〇委員の言うとおりのペースでやらせていただいているというのが、実情かと思えます。

・議長

策定委員会の次第のほうに次回の予定が書いてあります。出来ればそこで、いまある程度皆さんからご意見をいただいたところなので、それをまとめて、事務局のほうでも、ある程度文章的に整理をして、その先に進めるかどうか、それで進められるようであれば少し間をあけて文章を整理してという形でどうでしょうか、という方向に持っていけると思うので、確かに今年、視察も含めて月1で開催させていただきちゃいましたけども、このへんは少し間が伸びるかなという感じもしております。それでは、次回が3月27日ということで予定だけ組まさせていただきます、よろしいでしょうか。

-----委員了解-----

・議長

それでは、そのほかに事務局から連絡事項があれば。

- ・事務局

特にありません。

- ・議長

それでは、中途半端な感じになってしまいましたが、今日の会議のほうこれで閉じさせていただきます。本日はありがとうございました。